

福祉サービス第三者評価結果（総括表）

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 ライフサポート樂樂

② 施設・事業所情報

名称：多機能型事業所 いちばん星	種別：就労継続支援事業B型
代表者氏名：吉田	定員（利用人数）： 10名
所在地：〒306-0204 茨城県古河市大野鍛冶打736-8	
TEL：0280-91-0150	ホームページ：www.fukushi-pastel.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成24年4月1日	
経営法人・設置法人（法人名等）：社会福祉法人パステル	
代表者：理事長 石橋 須見江	
職員数	常勤職員：2名 非常勤職員：4名
専門職員	（社会福祉士） 1名 （介護福祉士） 1名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	（訓練・作業室） 6室 （トイレ） 7室
	（相談室） 1室 （洗面設備） 5か所
	（更衣室） 1室 （機械浴） 1基
	（食堂） 1室 （浴室） 1室
	（脱衣所） 1室 （静養室） 2室
	（店舗） 1室

③ 理念・基本方針

<p>経営理念：ともに支え合う たしかな明日へ</p> <p>基本方針：「社会・地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、その使命を果たすために、4つの基本方針に基づく経営を実践する。</p> <p>①利用者の安心・安全の提供と生きがいの持てる法人</p> <p>②地域と密着し、共に成長できる地域社会を目指す法人</p> <p>③期待する職員像に基づき、働きがいのある職場の実現を目指す法人</p> <p>③ トータルなマネジメントの実現を目指す法人</p>

④施設・事業所の特徴的な取組

障害の種別に関わらず、ひとりひとりの特性、希望に応じた活動を行なっている。

作業面ではパンの製造を中心に行なっているが、製造（計量、成型、包装）販売、売上入力、チラシ作成など、工程を細かに分解することで、長所、得意な面を生かして従事している。

活動面では、施設旅行、ボウリング、クリスマス会、新年会、地域のお祭りなどに参加し、作業のやりがいとともに余暇の充実を図ることで、ひとりひとりの生活が豊かになるよう努めている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年 6月 5日（契約日）～ 令和8年1月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（今回初回）

⑥総評

当該法人は、多機能事業所、グループホーム相談支援センター等法人組織で三十数か所の事業所を有しており、事業所の役割、法人本部の役割等組織として統治・統制されている。従って評価項目の中では、個別事業所としての回答が出来ないところもあり、その点については法人本部での総合的なヒアリング等で補っていく必要がある。

◇特に評価の高い点

1. 利用者本位の運営姿勢が職員の中に浸透している。
2. 組織構成員の縦関係・横関係が円滑な事業運営環境である。管理者と職員間のコミュニケーションに溝はなく、職員への気配りがされている。
3. 職員行動規範、倫理規定、スローガン、「ニコリ・ホット運動」等事業所が目指すべき施設の方向性について明示され、実践されている。生活支援事業所としてのサービスの原点「一人一人の仕事づくり・役割づくり・居場所づくり」を意識した運営がされている。
4. 職員アンケート並びに職員ヒアリング(4名)を通して職員間つまり事業所内の風通しが円滑であり、相談しやすい環境であり、職員の就労に関する満足度は高い。
5. 看護職員3名で生活介護として重度心身障害者の利用を受け入れており、地域のニーズの掘り起こしをしている。また作業療法士の職員がいる事で専門性の指導もされている。
6. 永年のノウハウの蓄積から法人としての組織体制が確立している。
7. 一人一人の個性を大事に事業4分野(パン製造販売、パソコン、ユザワヤ下請け受注作業、農・園芸)で利用者工賃の向上に組織として取り組んでいる。

◇改善を求められる点

1. 大きな組織で機能分割して運営管理されているので事業所のオリジナリティを高める特徴ある施設への発展を望む。
2. 本部主催の職員研修や各種委員会・研究会等で職員のモラルやスキル等を図っているようだが、現場サイドの勉強会や報告会、OJTのマニュアル等の整備が求められる
3. 各種報告・記録等中心にファイル整理がされているが、マニュアル・規定等は確認できなかった。
4. 単年度の事業計画について定量評価で具体的な計数管理できるような計画を提案する。また、事業計画の達成(成果)検証の仕組、モニタリング、中間検証合議等で常に事業計画を意識した事業運営、職員への事業計画の意識づけを保つようにされたら良いと思う。
5. 法人のBCPについて細部にわたりマニュアルとしてはよくできている。が日常職員が活用できるように、ダウンサイジングでの手帳的(簡易版)があると良い。
6. 研修制度については階層別、職種別にプログラミングされて本部主催での実践されている。事業所単位での研修会等はされていないようであり、むしろこれからは本部が出前で職員スキルアップや研修をしていくことも一考と思う。
7. 工賃向上に向けての具体的アクションプログラムの作成と活動計画および販路進捗状況等組織的、計画的に取り組んで行くことを期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

法人内に多くの事業所があり、1つの事業所内で考えるのではなく、様々な事業所の職員が委員会活動や研修等で集まり、意見交換することで互いに成長できることが強みであることが再認識できました。法人の理念や基本方針として掲げているものについて高い評価をいただいたこと、利用者本位で業務にあたっている支援員の姿勢が評価されたことが今後の励みになると思います。利用者様の個性や希望を考慮し、多くの作業種の提供することや、ご本人がやりがいや仕事での充実を感じられる環境を整えることを継続していきたいと思います。

一方で、事業所としてのオリジナリティをどう高めていくか、工賃向上について具体的なアクションプログラムについて、事業所会議等で職員の意見を集約しながら検討を重ねていきたいと思います。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）